


施設名	千賀居隧道(夜屋隧道)		 						
所在地	愛媛県 八幡浜市								
管理者等	八幡浜市								
施設種類・分野	道路	隧道							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>八幡浜市と大洲市を結ぶ旧道・夜屋峠にある。1971(昭和46)年に現在の国道197号線夜屋トンネルが完成するまで両市間の幹線道路であった。構造は、総煉瓦トンネル、長さ17m、幅員4.8m、高さ3.5mである。擁壁は、イギリス積み、アーチ部は長手積みに変化する日本で見られる、基本的な煉瓦積み隧道である。</p>								
築造時期	明治後期		時期詳細	竣工1905年(明治38年)					
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	<p>伊予の小京都と呼ばれる大洲市と西側の港町として古くから栄えた八幡浜市とは直線距離で10km程ではあるが、わずか標高300m程度とそれほど高さはないものの急峻な山々に阻まれ、陸路の寄って通行は困難を極めていた。両市の間には、夜屋峠と呼ばれる古道があり、人はともかく自動車レベルの乗り物が通行するにはあまりにも狭く急な道だったため改良され、その際にできたのが千賀居隧道を含むループであった。</p>								
歴史的な遺産等の指定の有無等	—	選奨土木遺産(土木学会)	—	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
その他 (関連資料、文献)									
管理者等のHP(URL等)									